

韓国からの市民団体が来福！原発問題を国際連帯で問おう！！

脱核アジア平和のための西日本原発地域日韓市民ツアー

韓国反核市民訪問団との 福井国際連帯交流会

日時：2013年10月3日（木）

午後7時00分～午後9時30分

会場：明通寺（小浜市）

住所：〒917-0237 福井県小浜市門前5-22

電話：0770-57-1355（詳細案内、地図裏面）

参加費：資料代 300円

主催者：脱核日韓市民ツアー福井交流準備会

連絡先 090-3292-9029（中野）

☆☆☆ 福井県内外、どなたでも参加歓迎 ☆☆☆

福井交流会賛同人（敬称略、読み順）

9月14日現在

浦上充（日本基督教団城之橋教会牧師）

小野寺 恭子

（福井から原発を止める裁判の会事務局）

川瀬俊治（解放出版社）

河合良信（シンガーソングライター）

古賀久幸（小浜聖ルカ教会牧師）

小林聡

（福井聖三一教会・敦賀キリスト教会牧師）

西條由紀夫

（日本バプテスト連盟福井キリスト教会牧師）

佐藤大介

（ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局）

崔勝久（NNAA事務局長）

寺本和泉（日本聖公会信徒・大阪）

中野哲演（明通寺住職）

中野充（あわら市農業）

山本富士夫（福井大学名誉教授）

弓場彬人（大阪朝禱会）

若泉政人（反原発福井コラボレーション）

交流会概要

①挨拶、韓国側、福井側（中野哲演師）

②今回の訪問のいきさつ NNAA 崔勝久氏・他

③韓国の方へ福井の原発の説明

「世界から見る福井の原発問題」

福井大学山本富士夫先生

④車座になって、語り合い

語り合いには、明通寺住職中野さん始め、賛同人の方

若狭ネットの方など多彩な方々が参加されます。

※ 韓国訪問団の方は、日程の都合上、食事しながらの交流会となる可能性があります。和気あいあいと、歓迎したいと思います。

※ 韓国訪問団の方は、翌日10月4日午前中バスで福井の原発を見学されます。同行して、交流、さらに若狭の実状などを説明していただく方を募集しています。可能な方をご連絡下さい。090-3292-9029(中野)

※ 今回市民ツアーのいきさつの詳細などは、下記のブログをご覧ください。

http://oklos-che.blogspot.jp/2013/08/blog-post_22.html

国際連帯活動のご案内

原発輸出をすすめる福島原発のメーカーを提訴する

今回のツアーは、NNAA 以外の日韓の市民団体・個人も多数参加されていますが、市民ツアーのきっかけを作った NNAA では、11月に提訴する原発メーカー訴訟を準備しています。事故責任をなんら問われることなく原発輸出に力をそそぐ原発メーカーの社会的責任を問います。世界中から原告を募集します。裁判参加などは次のホームページをご覧ください。

<http://ermite.just-size.net/makersosho/index.html>

これからの若狭と福井のために国際交流で原発を問い掛けよう！！

福島第一原発事故は、収束どころか懸念された汚染水問題が本格化し、解決策のないなかで泥沼状態になりつつあります。地球規模での放射能の拡大も懸念され、世界中が福島に注目しています。福島では、痛苦なことに甲状腺ガンと診断される子ども達が増え続け、因果関係が直接証明しにくいいため報道されてないとはいえ、重篤なものも含む健康被害がひろがっていると言われます。福島県の被災者は、雇用・生活・健康すべてにわたって苦難の道を歩まされ、しかし、原発を推進してきた人々は、反省どころか原発の再稼働を目論んでいます。それどころか、オリンピックを開催して震災からの復興をアピール、世界一安全な原発などと、日本の原発を売り込むのにやっきです。首相までもが、トップセールスなどと称して原発売り込みに奔走しています。福井では、大飯原発が定期検査で止まる一方、高浜まで含めた再稼働が目論まれ、一端活断層とされた敦賀原発まで維持・再稼働が企まれています。

そんな中、今年 NNAA (No Nukes Asia Action) という団体が呼びかけて韓国の原発学習と韓国で反核（韓国では、「反原発」と「原爆反対」か、「反」とか「脱」とかの違いはありません。「核」を問います）を戦う

人々との連帯をかねて、幾人かの市民が韓国を訪問しました。韓国での熱心な歓迎と交流をきっかけに、今度は韓国から住民、市民、農民、宗教者など多彩な方が日本の原発事情の視察と、日本で原発問題を問う人々との交流の為にいらっしゃいます。

韓国の日本海側にも多数の原発が稼働しています。福井の原発と同様に多くの事故をおこしています。韓国からみても、若狭にある原発は不気味な不安材料でしょう。福島汚染水の流出、日韓が売り込みでぶつかる原発輸出、核廃棄物のモンゴル投機のたくらみ、ウラン原料の輸入、原発が原料や技術で核兵器と深くかかわることなど、原発問題は、国際連帯で問わないと取り組むことができないでしょう。

韓国からの訪問団は、西日本中心にバスで各地を回り、10月3日当日は、朝、祝い島を出て、広島を訪れ、夕刻福井に到着するという強行軍の中でも、ぜひにと福井を訪れること、また福井の人々との交流を希望されています。当日はウィークデーで、嶺北の方には遠方の会場となりますが、万難を排して、幅広く交流会にご参加下さい。熱い議論に参加し、福井の原発を問う運動と海外の人々との国際連帯するきっかけを作って行こうではありませんか！

明通寺地図⇒

